

労働基準監督官は、全国約5,300万人の働く人のいのちと健康を守り、支えることができる仕事です。

働く人の価値観や、働き方が多様化する中でも、賃金や労働時間などの労働条件の確保、働く人の安全や健康確保は不可欠です。労働基準監督官はそういった働く人が安心、安全に働くことができる職場環境を実現するため、全国410万の事業場（企業）に立ち入り、事業主に対し労働基準関係法令に基づいた指導を行っています。

私は、「働きたいと思っている方が、自分の大事な友人や家族が、安心して働くことができるよう、働く環境を守り、支えたい」という思いから、労働基準監督官の仕事を目指しました。

違法な状況や望ましくない労働環境を改善させていく仕事は、業種や規模によって事案毎に異なり、一度として同じ仕事はありません。これほど多様な業種や規模の働く人、事業場（企業）の方と言葉を交わし、働く環境を変えることができる可能性に満ちた仕事は他にないと思います。

「前より会社に行くのが辛くなくなった」、「ありがとう」、感謝された言葉は今でも忘れられない思い出です。

労働基準監督官になって後悔をした日は一度もありません。

大事な人の、誰かの、「働く」を守り、支えたい。そう思っている方、労働基準監督官になりませんか。皆さんと働ける日を楽しみにしています。

京都労働局労働基準部監督課長 多賀谷 千尋

